

企画上映

TIFF/NFAJ クラシックス 小津安二郎監督週間

TIFF/NFAJ Classics: Yasujiro Ozu Week

2023年10月24日(火) - 29日(日) @国立映画アーカイブ

映画監督・小津安二郎(1903-1963)の生誕120年と没後60年を記念して、今年の東京国際映画祭(TIFF)では小津安二郎監督の特集が行われます。国立映画アーカイブでは、東京国際映画祭と連携し、小津安二郎のサイレントからトーキー初期にかけての作品群(16作品、14プログラム)をすべて英語字幕付き35mmプリントで上映します。多彩なゲストによるトークや伴奏音楽付きの上映、さらに、近年新たに発見された『突貫小僧』(1929)現存最長版の世界初上映を行うなど、小津監督作品を新たな視点で捉えなおす貴重な特集上映です。



『突貫小僧』

見どころ

『突貫小僧』新たに発見された最長版の世界初上映

1929年に公開された『突貫小僧』(監督:小津安二郎)は、近年新たに最長のマーヴェルグラフ版が発見されました。本特集では、発見された16mmフィルムをブローアップして35mmフィルムに複製した最長版(21分)の世界初の上映を行います。少年と親分の珍妙なやり取りや移動撮影など、新発見のカットをご覧ください。

現代的視点から小津を語るトークイベントを開催

上映後トークイベントのゲストには、小津安二郎国際シンポジウム「SHOULDERS OF GIANTS」にも登壇するジャ・ジャンクー氏(映画監督)、『突貫小僧』のフィルム発見者である築山秀夫氏(長野県立大学教授、全国小津安二郎ネットワーク副会長)、小津サイレント作品をリメイクするWOWOWドラマ・シリーズに参加の城定秀夫氏(映画監督)などを予定しています。



ジャ・ジャンクー監督

多彩なピアノ伴奏付きで上映

サイレント映画伴奏の経験が豊富なピアニストたちによる、独創的な作曲や即興性豊かな演奏による伴奏付上映を行います。出演者は神崎えり氏(『学生ロマンス 若き日』、『朗かに歩め』)、天池穂高氏(『その夜の妻』)、小林弘人氏(『浮草物語』)、柳下美恵氏(『東京の合唱』)です。

上映作品 (14プログラム・17本)

『学生ロマンス 若き日』(1929年) / 『大学は出たけれど』(1929年) / 『突貫小僧』[パテベビー短縮版](1929年) / 『突貫小僧』[マーヴェルグラフ版](1929年) / 『朗かに歩め』(1930年) / 『その夜の妻』(1930年) / 『淑女と髯』(1931年) / 『東京の合唱』(1931年) / 『青春の夢いまいづこ』(1932年) / 『東京の女』(1933年) / 『出来ごころ』(1933年) / 『母を恋はずや』(1934年) / 『浮草物語』(1934年) / 『東京の宿』(1935年) / 『一人息子』(1936年) / 『淑女は何を忘れたか』(1937年) / 『戸田家の兄妹』(1941年)

開催概要

企画名: TIFF/NFAJ クラシックス 小津安二郎監督週間 (英題: TIFF/NFAJ Classics: Yasujiro Ozu Week)

会期: 2023年10月24日(火) - 29日(日) 会場: 国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU[2階]

主催: 国立映画アーカイブ、東京国際映画祭 協力: 松竹株式会社、株式会社橋本ピアノ

HP: <https://www.nfaj.go.jp/exhibition/ozu202309/>

問合せ: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

チケット: 詳細は国立映画アーカイブのHPをご確認ください。

《本特集に関する問合せ》※一部の作品のステル写真を広報用に貸出します。ご希望の方は下記までお問い合わせください。

国立映画アーカイブ(上映室: 広報担当) MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830